

中学部 3年

今年の中学部三年の学級目標は「克己心」です。(理性と意志の力で自分の欲望や感情に打ち勝つ心)中三となった今、周りに流されることなく、強い意志を持って、自分の進むべき道を見極め、歩んでいきたいとおもいます。下の文は、今を迎え、この一年の思いを書きました。

克己心

中三の私だからこそ

私は今年で中三になりました。自分が中三(受験生)ということに少しずつ実感がわいてきました。そんな中、私には三つの抱負があります。

まず、一つ目はやはり勉強のことです。昨年までの私は、計画表を作っても守れるのは最初の三日間だけ。ほとんど予定がくるって、最後には焦る始末。このようなことが続かないようにこれからは自分にあつた無理のない計画を立てて実行していきたいです。これからは一分一秒を大切にして受験勉強に励んでいきたいです。三日坊主もありません。

二つ目は後輩にしてあげたいことです。私が中一のとくにも中二がいまいませんでした。そのとき不安がっていた私にも優しく、そしてやさしく接してくれたのは中三の先輩方でした。中一のころは何もかも初めてでわからないこともたくさんありました。そのわからなかったことを教えてくれたのも中三の先輩でした。そのおかげで充実した一年間を過ごすことができ、とても感謝しています。しかし、先輩方にその恩を返すことは出来ません。私は、その代わりに今新しく入ってきた中一の子と私が中一のとくにもしてあげたいと思っています。

三つ目は、毎日の過ごし方についてです。私は今年で釜山生活最後の年になってしまいました。四年生、五年生、六年生、中学一年、中学二年そして中学三年。この六年間でたくさんの人と出会いました。今は釜山にいない友だちや先生もたくさんいます。その友だちや先生に教えてもらったこと、楽しかった思い出、ひとつひとつを思い出してできればそれをファイルにまとめてコメントを書いたりしたいです。また、自分が教えてもらったことを、今この釜山日本人学校にいる人たちに私からいろいろ教えてあげたいです。

今あげた三つのことが中三の私だからできることだと思っています。日本に帰ってから後悔しないように今がんばってこの三つのことをやりとげたいです。そのために「このことを心の中においていつでも実行できるようにしていきます。」

~担任より~

わたしの好きな詩のひとつに高村光太郎の「道程」という詩があります。その冒頭「僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る」という一節、まさに人の人生を言い表していると思います。私は、この一年、この一節を心に刻みながら生活していくことが大切なのではないかと感じています。中学3年生という人生の大きな岐路に立たされた今、自分にしかできない道を切り開いていくために何をすべきかを考えていかなければなりません。また、釜山での最後の年を迎えるに当たって、自分が歩んできた道をしっかりと確かめること、それは決して昔を懐かしむことではなく、今の自分、未来の自分があるのは、ここ釜山での6年間の生活があったからなのです。この「道」という言葉を心に刻みながら最後のしめくくりをしていきたいと思ひます。

道